

さい がい じ たい おう 災害時の対応について

しょう がい の しゅ るい てい ど さい がい お じょうきよう し ほん だん ひ なん
障がいの種類、程度によっては、災害が起きても状況を知り判断をしてすぐに避難
することが難しい人もいます。

さい がい じ ひ なん て だす ひつ よう
災害時には避難の手助けが必要です。

さい がい じょうきよう しょう じょう たい ほう ほう こと ゆう どう まえ じょう ほう どう じ
災害の状況、障がいの状態によって方法は異なりますが、誘導する前に情報を当事
者に伝えてから、避難誘導しましょう。

1. じ ぶん な まえ つた 自分の名前を伝える

「あいサポーターの〇〇です」と伝えてください。

こえ を かける、ひつ だん て ひと も じ か ひと ほう ほう つた
声をかける、筆談、手のひらに文字を書くなど、その人にあった方法で伝えましょう。

2. いま お こと がら なに つた 今起きている事柄とこれから何をするかを伝える

ひつ だん て も じ ば あい か じ ひ なん か じ に
筆談や手のひら文字などの場合、「火事 避難」や「火事 逃げる」など、キーワ
ードだけでも伝わります。

3. ひ なん ゆう どう 避難誘導する

し かく しょう ひと かた も もく てき ち ゆう どう
視覚障がいがある人には、肩やひじを持ってもらい、目的地に誘導しましょう。

す ち いき しょう ひと ば あい ひ こえ
住んでいる地域に障がいの人がいる場合には、日ごろから声をかけるなどして、
たす あ かん けい ところ
助け合いの関係をつくるように心がけましょう。